授業科目名	政策学Ⅰ(総論)	大学名	白鷗大学
科目区分		開講時期	後期（９月２３日～２月４日）
学部・学科等	法学部法律学科	曜日	水曜日・木曜日（週２コマ）
必修・選択区分		時限（時間）	水：１限（　９：００～１０：３０） 木：３限（１３：０５～１４：３５）
標準対象年次	２学年以上	授業形態	講義
単位数	４単位	授業会場	東キャンパス
担当教員名	児玉　博昭		
電話番号（代表者名）	0285-22-1111	e-mail アドレス	gakumu@ad.hakuoh.ac.jp
オフィスアワー	特に設けず，e-mail や電話で予約を取ってから，質問や相談に応じる。		
授業の概要	＜授業の目標及びねらい＞ 公共政策学は、公共政策、すなわち公共的な問題を解決する基本的な方向性と具体的な手段を考察する学問である。公共政策学は、大別すると、政策決定や実施・評価という政策過程に関する知識（of の知識）と、政策分析に必要な知識や個別政策領域に関する知識（in の知識）によって構成される。この講義では、前者の政策過程論（of の知識）に重点を置き、公共政策へのアプローチ、公共政策のデザイン、プロセス、ガバナンスに関する基礎知識を整理する。 公共政策はどのようにデザインされ、決定され、実施・評価されるのかを理解できるようになることを目標とする。 ＜前提とする知識・経験＞ 前提科目はない。個別領域の政策問題については、「政策学Ⅱ（各論）」で取り扱う。政策学総論の基本編である。 ＜授業内容と具体的な進め方＞ 教科書に沿って講義を進める。概念的な整理が中心となるが、具体例を取り上げた映画なども見ていきたい。 ＜授業計画＞ 詳細は Web シラバスを確認してください。 ＜教科書・参考書・教材と入手方法＞ 『公共政策学の基礎』秋吉貴雄・伊藤修一郎・北山俊哉、有斐閣、2,730 円。 ＜成績評価法＞ ①具体的な評価方法 　レポートと学期末試験によって相対的に成績を評価する。レポートは特定の政策過程を考察したものとする。学期末試験は論述式で予告内容の中から出題し、持込は不可とする。 ②評価方法の比率 　レポート：50%、定期試験：50% ＜教員からのメッセージ＞		